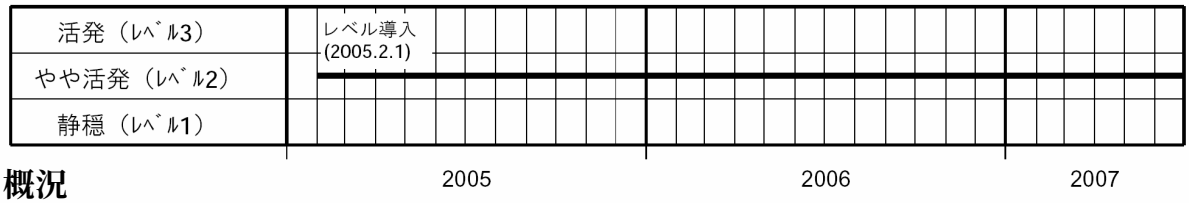
薩 摩 硫 黄 島

○ 火山活動評価：やや活発な状況（レベル２）

噴煙活動、地震活動ともにやや活発で、火山活動はやや活発な状態で経過しています。
2005年２月１日の導入以降、レベル２が継続しています。

火山活動度レベルの推移



○ 概況

・噴煙活動（図２）

硫黄岳山頂火口の噴煙活動は、やや活発な状態で経過しています。
噴煙は白色で、高さは概ね200m（最高高度は1000m）で推移しています。

・地震、微動活動の状況（図２、図３）

地震活動はやや活発な状態で経過しています。
火山性地震の月回数は169回（５月：156回）とやや多い状態が続いています。
継続時間の短い火山性微動は２回（５月：８回）発生しました。
火山性連続微動は観測されませんでした。

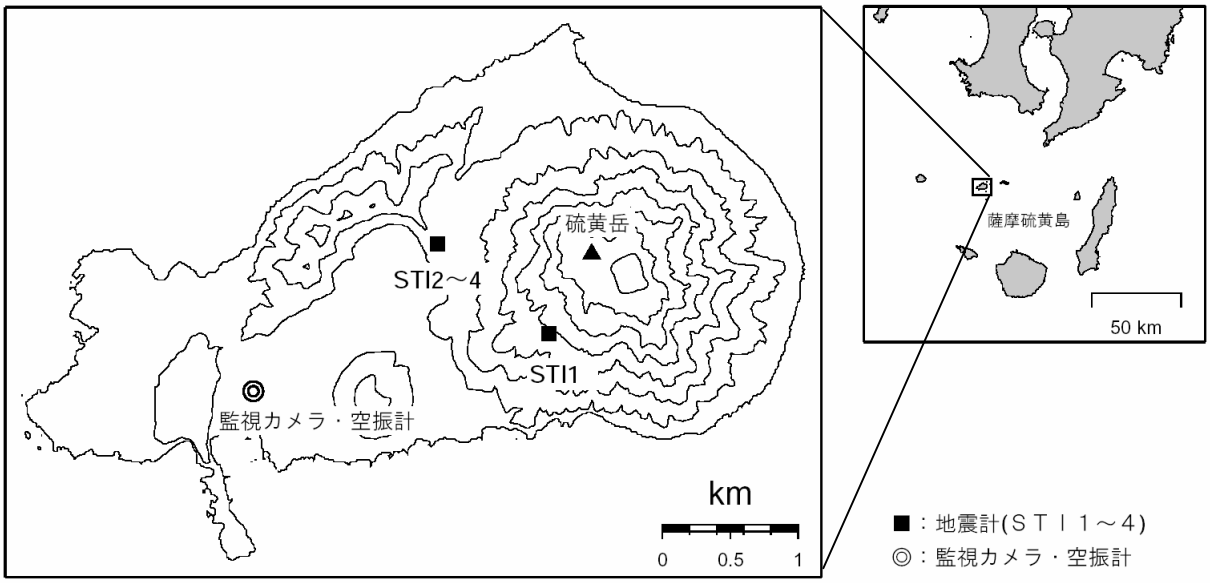


図１　薩摩硫黄島　観測点配置図

地図の作成に当たっては、国土地理院の承認を得て、同院発行の『数値地図10mメッシュ(火山標高)』を使用しています(承認番号：平17総使、第503号)。

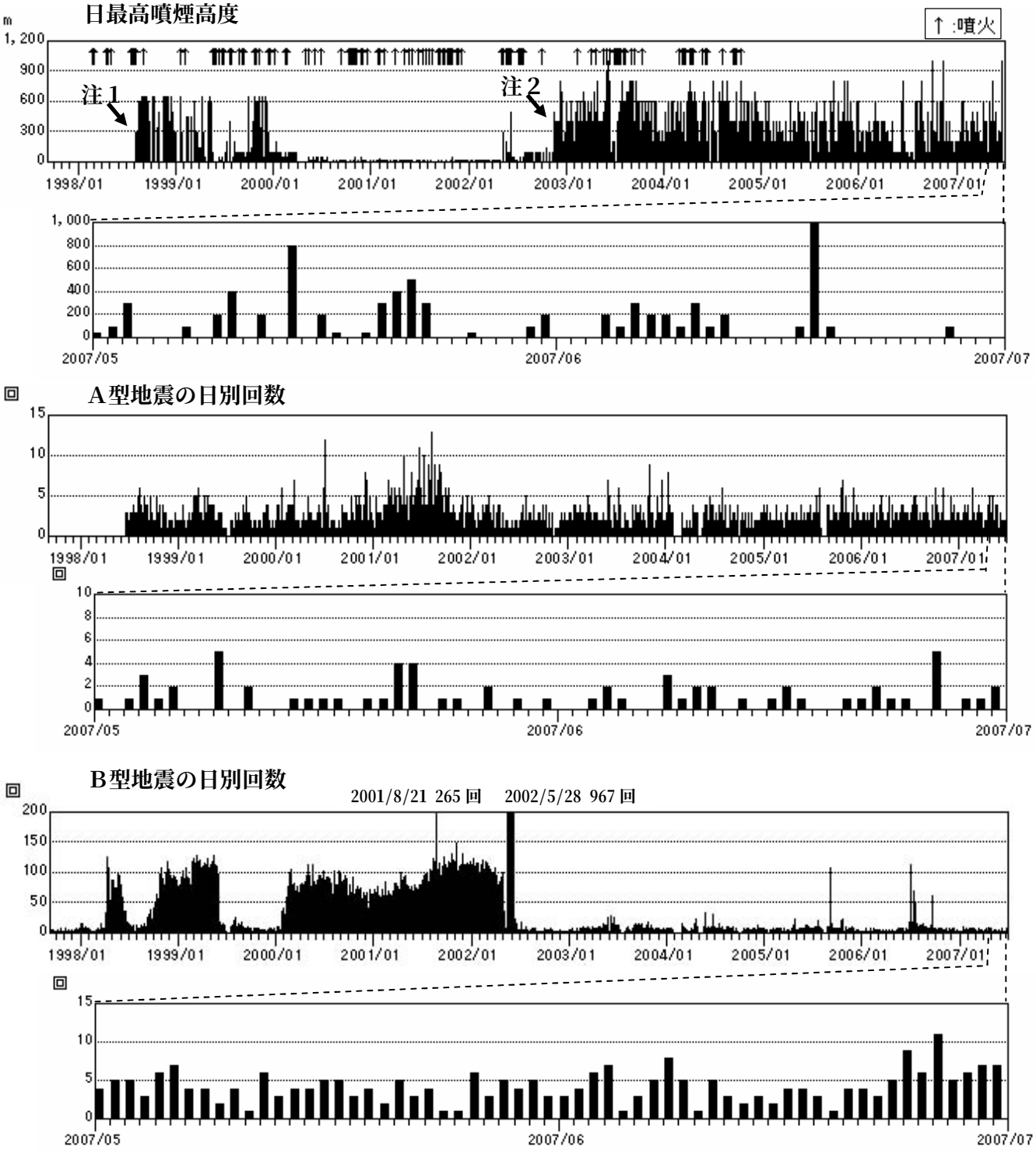


図２　薩摩硫黄島　火山活動経過図(1997年９月10日～2007年６月30日)

- 噴火はありませんでした。
- 噴煙高度の最高は18日の火口縁上1000m(５月：800m)でした。
- A型地震は32回(５月：35回)で、大きな変化はありませんでした。
- B型地震は137回(５月：121回)で、やや多い状態でした。

注１　1998年８月１日　三島村役場硫黄島出張所から気象庁へ通報開始。
注２　2002年11月16日　気象庁が設置した監視カメラによる観測開始。

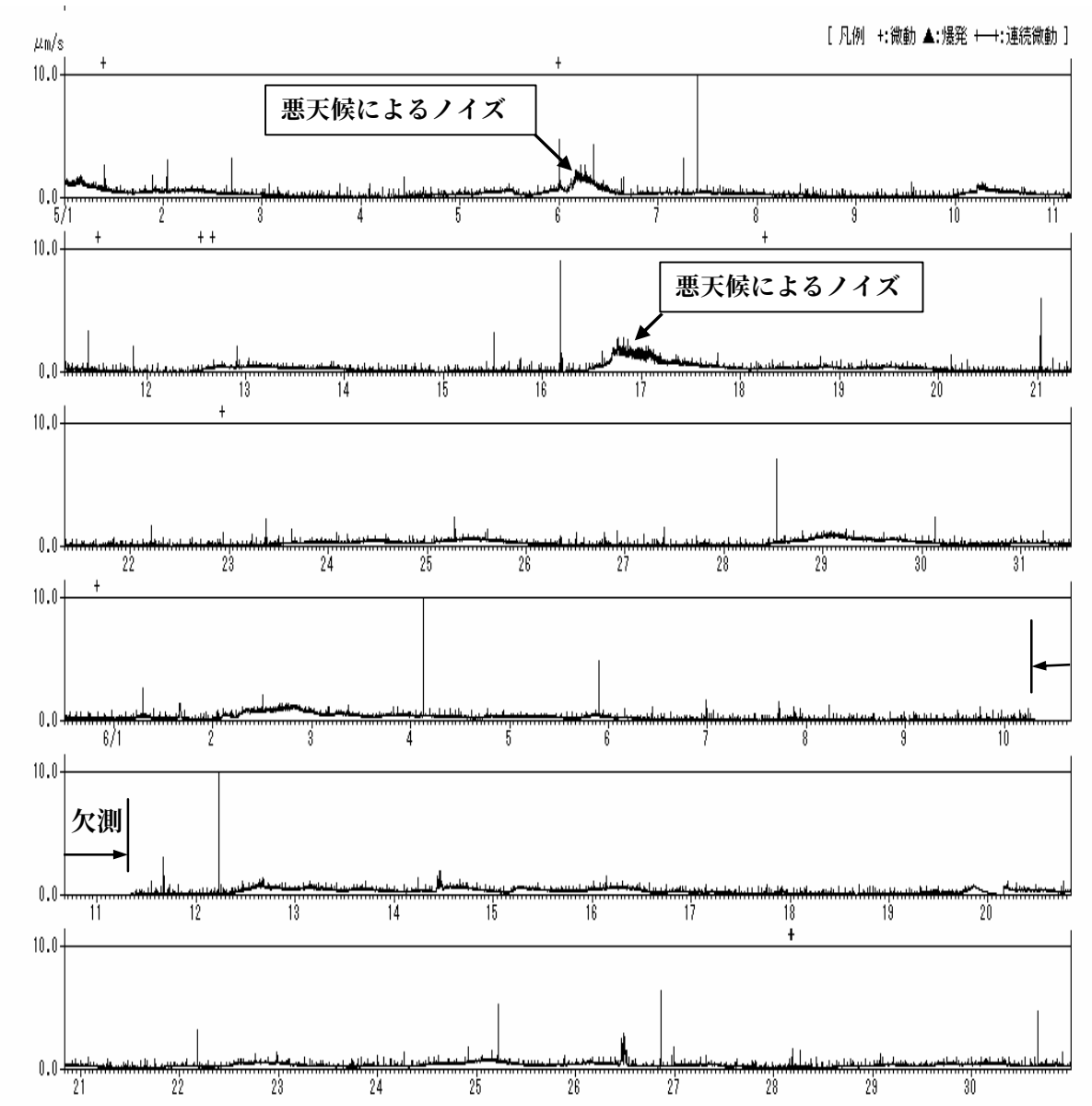


図３　薩摩硫黄島　１分間平均振幅の時間変化（STI1 上下成分）(2007 年５月１日～６月 30 日)

・火山性連続微動はありませんでした。

・継続時間の短い火山性微動が２回発生しました。